

第66期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(平成28年6月1日より平成29年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「自然科学書協会講演会 2017 (創立 70 周年記念)」を開催した (文部科学省後援)。
 - ・日時：平成29年5月13日 (土)、14時30分～17時00分
 - ・会場：日本出版クラブ会館
 - ・講師：柳田邦男氏 (ノンフィクション作家)
 - ・演題：「文学としての科学書」
 - ・聴講者：128名
- 「サイエンスカフェ」(三省堂書店共催)を2回開催した。
 - ・平成28年6月11日 (土)、「気候変動リスクと人類の選択—地球温暖化で世界はどう変わるか—」、講師：江守正多氏 (国立環境研究所主任研究員)、於三省堂書店池袋本店
 - ・平成28年6月25日 (土)、「土砂災害と防災教育—『生きる力』を身につける—」、講師：今村隆正氏 (株式会社防災地理調査取締役)、於三省堂書店池袋本店

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会 (以下書協)をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア2016」を開催した。
 - ・期日：平成28年6月1日 (水)～6月30日 (木)
 - ・会場：三省堂書店池袋本店
 - ・テーマ：「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：45社
 - ・出展点数：1,339点
 - ・出品冊数：3,903冊
 - ・売上：309点・498冊・1,200,365円
- 「第23回東京国際ブックフェア」(TIBF2016)を後援し、協会単独ブースを出展した。

「わかるうれしさ! できたよろこび! 目で見るサイエンス」の特別展示コーナーを設置した。また、購入者に抽選で図書カードをプレゼントした。

 - ・期日：平成28年9月23日 (金)～25日 (日)
 - ・会場：東京ビッグサイト西ホール
 - ・参加社数：会員社58社、非会員社2社

- ・ 出品冊数：2,836 冊
- ・ 総売上冊数：748 冊

○海外のブックフェアに出展し、会員社の出版物の普及を図った。

- ・「第 23 回北京国際図書展示会」(BIBF2016)

前年同様に 1 社 10 冊まで 1 冊 1,000 円の出品補助金を出し、普及促進を図った。BIBF 日本事務局(トーハン・東方書店)より 3 ブースが提供され、全点面陳で展示した。版權の問合せが 8 件あった。

- ・ 期日：2016 年 8 月 24 日(水)～28 日(日)
- ・ 会場：中国新国際展覽センター
- ・ 参加社数：17 社
- ・ 出品冊数：184 冊

- ・「第 68 回フランクフルトブックフェア」(FBF2016)

出版文化国際交流会の当協会・大学出版部協会の共同ブースに出品した。

- ・ 期日：2016 年 10 月 19 日(水)～23 日(日)
- ・ 会場：フランクフルトメッセ
- ・ 参加社数：17 社
- ・ 出品点数：43 点

○英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・「新たな権利制限規定」「教育の情報化の推進」等に関する著作権法改正の動きを注視し、その過程を会員社へ報告した。
- ・教育利用に関する著作権等管理協議会の発足に伴い、会員として参加した。また著作権等管理協議会に関する書協の会議に参加し、改正著作権法第 35 条の適正運用のための協議を行った。
- ・著作権法改正に向けた文部科学省文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会の中間まとめに対し、パブリックコメントを提出した。
- ・会員社からの海賊版被害の報告に対し全会員社に注意を促すとともに、その被害への対応に協力した。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構(JCOPY)の構成団体の一員として運営に協力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社から当該表彰候補を募った。応募者を推薦したが受賞には至らなかった。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 19 回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

- ・日時：平成 28 年 11 月 21 日（月）、16：00～17：30
- ・会場：日本出版会館
- ・講師：明智憲三郎氏（作家・歴史研究家）
- ・演題：「信長に学ぶ弱者の戦略」

○当協会及び出版梓会の共催で、下記の合同研修会を開催した。

- ・日時：平成 28 年 6 月 24 日（金）、15：00～17：00
- ・会場：日本出版クラブ会館
- ・講師：金原 俊氏（株式会社医学書院副社長／医書 j p 株式会社取締役）
- ・演題：「医書 j p—出版社による新たな配信・販売戦略—」
- ・参加者：45 社・75 名

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年 4 回発行した（平成 28 年 7 月，11 月，平成 29 年 1 月，4 月）。

・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各専門委員会の活動報告／出版業界関係者及び自然科学各分野の著名人による「自然科学書協会に期待すること」／自然科学各分野の著名人によるエッセイ／講演会の要約／国際ブックフェアの報告など

・自然科学知識の普及、活動の告知、会員増強などのために会報を日本出版クラブ会館ロビーなどで展示配布した。合わせて、各出版関連団体へも送付した。

○ホームページを常に最新の状態にして、外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し、常に更新した。
- ・会報の PDF 版を掲載した。
- ・「自然科学書協会講演会 2017」等の関連行事の内容を掲載し、広く告知を図った。

7. 創立 70 周年記念事業の実施

○創立 70 周年記念会・祝賀会を開催した。

- ・日時：平成 28 年 12 月 1 日（木）、16：00～20：00
- ・会場：日本出版クラブ会館

記念会では、「自然科学書に期待すること」と題して、高井昌史氏（株式会社紀伊国屋書店代表取締役会長兼社長）が基調講演を行った。

記念式典・祝賀会には、関係省庁、各出版団体、会員各社から 136 名が参加した。

○「自然科学書協会 70 年史（60 年史追補版）」を刊行した。

8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○2017年4月1日に予定されていた消費税率10%へのアップが、2019年10月に再延期されたことから、出版物への軽減税率適用問題をはじめ、出版物への定価表示問題、定期刊行物の移行措置問題等、継続課題がそのまま先送りされたままになっている。書協では、業界あげての取組みの再構築を準備しており、当協会としてそれらの動きを注視し、協力して取り組んでいく。

○出版業界で行う諸事業(全出版人大会の開催、出版平和堂の活動など)に協力した。

・平成29年5月11日(木)に、第56回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され協賛団体として協力した。

・平成28年10月7日(金)に、出版平和堂第48回出版功労者顕彰会が執り行われ、出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし